

イヌマキ等の害虫(キオビエダシャク)被害に



ご注意ください！！

近年、県南部地域において、イヌマキ等（イヌマキ(ヒトツバ)、ナギ、ラカンマキ）の害虫である「キオビエダシャク」の生息が確認されています。

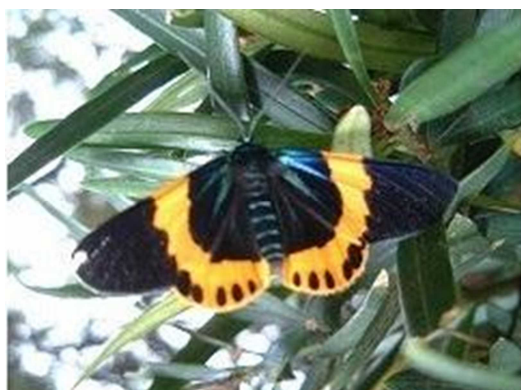
今後の被害の拡大が懸念されますので、ご自宅の庭にイヌマキ等がある方は十分注意してください。生態や対処法等については、以下のとおりです。

■キオビエダシャクはどんな虫？

成虫は、全体的に濃い紺色で、羽に黄色の帯がある美しい蛾（体長2cm程度、開張5cm程度）で、昼間飛び回ります。幼虫は5cm程度のシャクトリムシで、頭、尻及び側面がオレンジ色で、他の部分は灰色と黒色のまだら模様をしています。

幼虫は振動等に敏感なため、木を揺ると糸を吐いて垂れ下がってきます。

幼虫のみが、マキ科のイヌマキ(ヒトツバ)、ナギ、ラカンマキの葉を食害します。全葉食害を繰り返すと樹木が枯死する場合があります。



■発生したらどうやって防除するの？

①幼虫の発生が少ない場合

木を揺すって落ちた幼虫を捕殺します。また、木の根元の土中に茶褐色で紡錘型をしたサナギがいますので、掘り出して捕殺します。成虫は、捕虫網などで捕殺します。

②幼虫が大発生しているとき

薬剤散布が効果的です。薬剤がムラ無く葉の裏にもかかるように散布します（幼虫は葉の裏にもいます）。その後は定期的に観察して発生を確認したら散布を実施します。

ただし、薬剤散布は幼虫を殺すには効果がありますが、成虫、卵及びサナギには効果がありません。使用する薬剤の例は以下の通りです。

■効果のある薬剤は？

薬剤名	希釈倍数	販売取扱
トレボン乳剤	4,000 倍	農薬取扱店（園芸専門店、ホームセンター等）
ロックオン	1,000 倍	宮崎県森林組合連合会 TEL 0985(25)5133 宮崎園材 TEL 0985(47)6277

※薬剤散布の際は十分に飛散防止対策を行ったうえで、散布してください。

（薬剤散布時の注意事項については裏面参照）

■自分で薬剤散布する時に気をつけることは？

- ① 薬剤散布を行う前には、あらかじめ近所の方にも連絡し、また、周辺の農作物や通行人等に飛散しないように注意しましょう。
- ② 薬剤散布は、風がない時に、日中の暑い時間を避け、朝夕の涼しい時間帯に行いましょう。
- ③ 薬剤の使用にあたっては、ラベルの説明書を必ず読んで、記載内容に従って正しく使用しましょう。
- ④ 薬剤の希釈倍数を間違えないように注意しましょう。（決められた希釈倍数より濃い濃度での散布はできません。）
- ⑤ 薬剤散布を行う際は、薬剤が体に付着しないようにマスク、手袋、帽子、長靴、雨合羽などを着用しましょう。
- ⑥ 薬剤散布後はただちにうがい、洗眼を行い、また手足等を石鹸で洗い、衣類は下着まで着替えましょう。

※ 農薬については、国の登録を受けて製造販売されるもので、農薬取締法による製造・使用等の制限があります。また、使用時期・回数・分量なども規定どおり行うことが義務付けられています。違反した場合は、販売者・使用者とも罰せられます。

■薬剤散布機材の貸し出しについて

薬剤散布を町内会等グループで行う場合は、市が保有する背負式噴霧器を貸し出します。

貸し出しを希望される場合は、下記問い合わせ先にお尋ねください。

【噴霧器の貸し出し】

貸出条件：樹木等の病害虫防除を共同で行う団体。団体は2名以上の個人（1世帯1名）及び事業所をいう。

貸出期間：1週間以内

貸出機材：

型 式	タンク容量	特記事項
背負式手動噴霧器 KOSHIN RV-10DX	10 L	薬剤は各自で準備してください。
電池式噴霧器 SSD-5H	5 L	薬剤及び電池（単1形乾電池6個）は各自で準備してください。

※貸出機材は、台数に限りがあります。貸し出しを希望される際は、事前に問い合わせ先にお問い合わせの上、窓口までお越しください。

■自分で薬剤散布ができない場合は？

下記の各協会にご相談されると、薬剤散布のできる造園業者を紹介してもらえます。ただし、業者による薬剤散布は有料となります。

（一社）宮崎県造園緑地協会 宮崎支部

電話番号：0985-51-0208

ホームページ QR コード



（一社）日本造園建設業協会 宮崎地区

電話番号：0985-31-7241

ホームページ QR コード



【お問い合わせ先】

宮崎市都市整備部公園緑地課 花と緑の係

TEL：0985(21)1814 FAX：0985(21)1816

E-Mail：30kouen@city.miyazaki.miyazaki.jp